

平成28年7月14日に長野県上田市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月14日13時00分頃、長野県上田市吉田(よしだ)から上田原(うえだはら)で突風が発生し、樹木の幹折れなどの被害がありました。

このため7月15日、長野地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性はあるものの特定に至らなかった。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・突風は強雨またはひょうを伴っていたという証言が複数得られた。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害や痕跡から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。
- ・聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約30m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当する。

(根拠)

- ・樹木の幹折れ

\* この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。